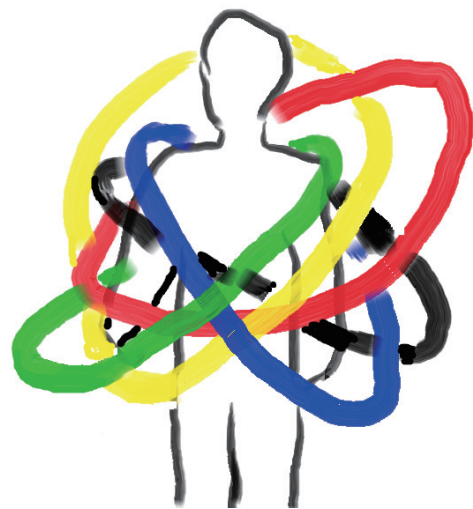


職場で求められる人としての尊厳 外国人技能実習制度と労働法制の改定問題から考える

私たちの職場、働き方には大きな変化が起きています。

日本は80年代に海外から非正規移住労働者を、90年代には日系人労働者を受け入れてきました。さらに外国人研修・技能実習制度をつくり、「安価な労働力」を第一次産業や中小企業に「提供」し、経済を下支えしてきました。長時間労働や賃金未払いなど、労働関連法違反は後を絶たず、国連からは人身売買の温床として抜本的改革を厳しく勧告され続けています。にもかかわらず、オリンピックにむけて労働力不足を補おうと、政府はこの制度の拡大を決定しました。軌を一にして、「残業代ゼロ・金銭解決で解雇は自由・限定正社員制度・生涯派遣労働」などということが現実になりかねない労働法制の改悪が進んでいます。

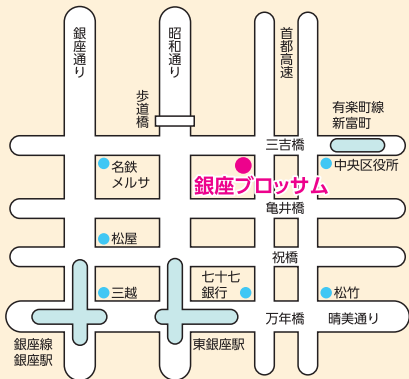
人がもののように扱われ切り売りされる社会はどうなっていくのか、人としての尊厳をもって共につくる職場とは。今、企業や職場に、そして働く人に求められているものは何か。現場を走りぬいてきた専門家と共に考えたいと思います。



2015. **9.9** 水
午後1時00分～
午後4時00分

銀座ブロッサム ホール

(東京都中央区、中央会館)



- ・地下鉄新富町駅 (有楽町線) 1 番出口より徒歩 1 分
- ・地下鉄東銀座駅 (日比谷線・都営浅草線) 3・5 番出口より徒歩 6 分
- ・地下鉄銀座駅 (銀座線) A13 出口より徒歩 10 分

参加・資料代 3,500円 (セミナー冊子代含む)

主催

第24回ヒューマンライツセミナー実行委員会

連絡先

実行委員会事務局

反差別国際運動日本委員会 (IMADR-JC)

〒104-0042 東京都中央区入船1-7-1 6階

Eメール: event@imadr.org

Tel: (03)6280-3101 Fax: (03)6280-3102

URL: http://imadr.net

内容

講演

今進む外国人労働者受け入れ

外国人技能実習制度が私たちに与える影響

鳥井一平さん (全統一労働組合副委員長、移住労働者と連帯する全国ネットワーク事務局長)

講演

過労死問題と労働法制の改悪が問うていること

川人博さん (弁護士、川人法律事務所、過労死弁護団全国連絡会議幹事長)

質疑を中心とした討議

職場で求められる人としての尊厳

川人博さん、鳥井一平さん

コーディネーター 飯田勝泰さん (東京労働安全センター常務理事兼事務局長)

講師・コーディネーター プロフィール



鳥井一平さん *Ippei Torii*

移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事／外国人技能実習生権利ネットワーク運営委員／全統一労働組合副中央執行委員長。90年代から移住労働者や外国人研修生・技能実習生などの労働問題、人権問題に取り組み、「時給300円」の研修生・技能実習生の人身売買・奴隷労働構造の実態を社会的に訴える。2013年6月、アメリカ国務省より「人身売買と闘うヒーロー」受賞。



川人 博さん *Hiroshi Kawahito*

弁護士／過労死弁護団全国連絡会議幹事長／過労死等防止対策推進全国センター共同代表幹事／東京大学教養学部「法と社会と人権」ゼミ講師。1949年大阪府生まれ。1974年東京大学経済学部経済学卒業。1978年東京弁護士会に弁護士登録。これまでに数々の過労死問題などの人権問題にとりくむ。著書に『過労自殺 第二版』(岩波新書)など。



飯田勝泰さん *Katsuyasu Iida*

1959年生。岐阜県出身。NPO法人東京労働安全衛生センターの常務理事兼事務局長。1987年から同センターの専従職員となり、労働災害や職業病の被災者、家族の支援活動にたずさわる。じん肺・アスベスト関連疾患、有機溶剤中毒、腰痛、頸肩腕障害、過労・ストレスによる健康障害、メンタル疾患、外国人労働者の労災問題に取り組む。